

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果							
		公表日 令和7年12月20日							
		利用児童数			48名		回収数 22名		
環境 ・ 体 制 整 備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		はい 19	どちらともいえない 3	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		21	1			・1対1で子どもと向き合ってくれてありがとうございます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		20	1		1		・視覚的にわかりやすいよう表示を工夫しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		21			1		・引き続き日々の清掃を丁寧に行なっています
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。		20	2			・何より子どもが「てらぴあ」に行きたがり、先生のこと が大好きです。家でも「てらぴあ」「先生」とお話してくれます ・PECSの練習もしていただき、高い専門性を感じています ・子どもの理解度に合わせて支援方法を変えてくれたり、 親の要望も柔軟に対応してくれて助かります ・どの先生が担当しても情報がしっかり共有されていて安心できます ・マスクを終始つけてるのかが気になります（言葉の勉強の際は口の動きがわかりにくいと思うので）	・若い職員や経験が少ない職員も同等の支援ができるよう、社内研修や外部研修を活用しながら知識・技術の習得を目指します ・マスクは必要に応じて着脱しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		21	1				・公表プログラムに沿った計画のちと、支援を行なっています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		22					・保護者さまのご意向も取り入れながら、職員からも発信・提案するよう努めます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		21	1				・ガイドラインを遵守して計画を作成しています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		21	1			・正直ここまで短時間で急成長すると思っていたなかつたの で感激しており、さすがプロだな～とよく家族とも話しています	・計画を適時確認しながら支援を行なっています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		21	1				・鉄棒などを新たに取り入れ、運動療育にも力を入れています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		10	5	4	3	・通所回数が少ないため、機会がないのかと思います	
支援 ・ 交 換 ・ 連 絡 ・ 提 供	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		22					・契約時にご説明しています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		22					・毎回丁寧に説明するよう心がけています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		21	1				・ホームセラピーやABAに関する講習会などを検討します
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		22				・都度、細かい子どもの成長を伝えてくださりこちらも安心ですし、親のいいところでの行動を知れてありがとうございます ・マイナスなことよりプラスな様子を多く伝えてくれるので、親もうれしいです	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		22				・幼稚園のことなど転園の相談にも乗ってくださり、アドバイス等してくれて感謝しています	

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				・子どもの発達について相談できる場、相手ができる、気持ちが楽になりました	・今後もお子さまやご家族に寄り添う姿勢を心がけます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	5	6	・就学相談会では先生たちの前向きなお話が聞けました ・就学相談会では他の保護者の方とも交流できてよかったです ・就学相談会を開催していただき、とても有意義な時間を過ごしました ・兄弟向けイベントや特性ごとの保護者交流会があるとうれしいです ・保護者向けイベントがもっと増えるとうれしいです	・保護者向けイベントは今後も増やしていきたいと考えています
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	・先生が全員やさしいので、安心して何でも相談できます ・先生たちがいなければ今の私たち家族はない、それほど助けていただいています ・相談に対し真摯に向き合い対応してくださり、本当に感謝しています	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				・いつもノートにたくさん活動内容を書いていただき、ありがとうございます	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	2		3		・インスタ投稿やブログ更新を増やします
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていますか。	21			1		・年に1度研修を行ない、職員の意識向上に努めています
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			4		・研修や訓練内容についてもおたより等で発信していきます
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			4		・定期的な訓練を実施しています
	25 事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		1		・安全計画に基づいた取り組みをおたよりで発信しています
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		5	・事故等のそいつた状況がありません	・今後も事故のないよう安全に留意いたします
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1			・安心して楽しく通所しています ・子どもが泣いてしまっているときも、先生たちの声掛けにこちらも「なるほど！」と勉強になることが多いです ・通い始めて数ヶ月、最初は泣いていましたが、今ではハイハイして教室に入っています ・お迎え時は満足そうな顔で楽しそうです ・のびのびと過ごさせていただいているようです	・お子さま本人だけでなく、保護者さまに安心してお子さまを預けていただける教室を目指してまいります
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	2		1	・お休みの日も「てらびあ！」と行きたがります ・通所の日は到着するとダッッシュで教室に入っていきます ・子どもにとって、てらびあが大好きな場所になっています ・毎回「楽しかった」と言っています	・お子さまに毎回笑顔で帰っていただけるような支援の提供に努めます
	29 事業所の支援に満足していますか。	21	1			・驚くほど言葉も増え、周囲からも「落ち着いたね」とほめられることが増えてうれしいです ・子どもは伝えたいことが伝えられるようになりストレスが減っている様子です ・楽しみながら成長もでき、本当に感謝しています ・子どもに合った一歩先の支援をしていただき、そんなこともできるのかといつも感心しています ・子どもの能力を引き出していただきとても感謝しています ・いつもありがとうございます ・通所させてよかったです ・これからもよろしくお願ひいたします ・毎回プログラムがしっかり組まれていて、家庭では難しい内容をやってくださるので大変満足しています ・先生方が一生懸命で親身になってくれるので安心できます ・大変満足しています	・今後もお子さまや保護者さまにご満足いただける支援を提供できるよう、職員一同研鑽に励みます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てらぴあぱけっと南浦和教室		公表日		令和7年 12月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃを片付ける場所を写真で示している ・視覚的にわかりやすい表示が多い 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除をしている ・クールごと（児童の入れ替え時）にも掃除や消毒（おもちゃ・床・ドアノブなど）をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や物が増えたため、整理整頓を徹底しスペースを確保する ・玄関周辺（下駄箱・窓側）の清掃も徹底する
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童に合わせた部屋を配置している 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・3か月ごとに全員実施している ・定期的に面談を行なっている 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収率が低いため、配布・回収の方法（依頼法）を工夫する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談やカンファレンスを行なっている ・○○したい、○○してほしいなどの意見が出たら相談するようにしている 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本部SVによる評価を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス第三者評価は未実施
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・本部の研修に毎月参加している ・外部研修にも参加している 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスやケース会議を行なっている 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスや申し送りを行なっている 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・本部のツールを使用している 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・主に担当間で行ない、全体で話し合う機会も適宜設けている ・カンファレンスやケース会議時に行なっている	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・研修時などに案を出し合っている	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼で行なっている	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終礼で振り返りや翌日の確認を行なっている	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・必要事項は申し送りを行なっている	
23	定期的にモニタリングを行い児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・会議には児発管が参加している ・園訪問は児童の担当職員が行なっている	・機会は少ない
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・定期的に園訪問をしているケースもある	・医療との連携はしたが、その他はあまりできていない
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・幼稚園・保育園とは必要に応じて行なっている	
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じて資料を作成し共有している ・小学校に向けて理解シートを作成している	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・ノートと口頭によるフィードバックを毎回行なっている ・必要があれば時間をとっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・保護者に支援を見学してもらったり、促し方を伝える機会がある	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・就学相談会で保護者同士の交流の場を設けた ・就学相談会以外のイベントも開催する	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・インスタを新たに始めた ・インスタ投稿、ブログ更新を増やす	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に研修や訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・モニタリング時に確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		・指示書がある児童はいない ・食品提供はない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・設備点検を隨時実施する ・運動器具を使用する際は安全に留意する
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・毎日の終礼で確認、共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎年虐待研修を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぽけっと南浦和教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ~ 令和7年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日 ~ 令和7年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別をメインに、児童ひとりひとりに合った支援を提供している	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有を丁寧に行ない、適宜プログラムを検討・実施している ニーズや課題に合わせて小集団活動を行なったり、運動支援のために設備を整えている 園訪問を積極的に行ない、支援に反映している 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修や本部研修の共有を徹底し、引き続き研鑽に励む 家庭での般化も目指す
2	家族支援に力を入れている	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳は詳細に記入し、保護者へ丁寧なFBをするよう努めている 保護者に寄り添い傾聴する姿勢を心がけている 全職員が面談できるよう、教室全体でスキルアップを目指している 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けイベントを増やす 面談を積極的に促す
3	障害児相談支援を併設している	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携に積極的に取り組んでいる 利用児童だけでなく見学者にも利用を促し、情報や支援を提供できるよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> より密な情報共有に努める 児童の就学後や将来も意識した支援を心がける

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けイベントが少ない	<ul style="list-style-type: none"> 時間の制約や人員の確保が難しい 個別かつ母子分離の療育のため、機会をつくりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 参観会など気軽に参加できそうなイベントから実施していく ホームセラピーやABA講習など、実践的なイベントについても前向きに検討する
2	発信力（SNS・ブログ）が低い	<ul style="list-style-type: none"> 全体に周知しきれていない 投稿数、更新頻度が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な投稿、更新を目指す 日頃からアンテナを張り、情報発信することを意識する
3			